新町物流センター

茅ヶ崎物流センター

運ぶのは信頼です

小林運輸株式会社

神奈川県平塚市下島 1022 番地の 5　平塚輸送センター内

茨城営業所

本社営業所

東京営業所

社長インタビュー

創立50年。
仕事の先先にあるお客様の姿を描いて…

当社は、平塚の化学系工場などに原材料を運ぶ仕事をしています。
皆さんが直接手にするようなものではないですが、私たちの仕事の先の先のお客様の笑顔を思い描いて仕事をしています。
運送会社では平塚市内に唯一の危険物倉庫を保有していますが、危険物とは簡単に言うとペンキや芳香剤、化粧品等に入っている可燃性のもののことで、それらを倉庫内で正しく保管しています。
また、経営理念である『思いやり』を軸に皆で良い会社にしたいと思っています。
ベースとなる『社風づくり』の9項目は基本的なことですが、これを見て集まってきてくれる人もいます。
そして教える方も教わる方も共に成長してゆく『共育』を推進するために、一昨年大磯町に社員共育センターを新設しました。
今後も定期的に皆が成長できるような研修を実施してゆきたいと考えています。

小林運輸株式会社
代表取締役社長　　小林誠

経営理念

わたしたちは思いやりと生きがいで
夢ある未来を創造します

経営目的

■共に育み、互いに尊重し明るい希望に進みます
■信頼を築き、人に街に優しさを届けます
■時代の変化に対応し、積み重ねた知恵と確実な管理で、安全に品物を届けます
■利益は未来へ蓄え、社員へ分配し、そして地域社会に還元します

社風づくり

○気持ちの良いあいさつと返事をしよう
○身だしなみを整えよう
○身の回りをきれいにしよう
○相手の立場になり行動しよう
○ネガティブな仕草や発言をなくそう
○感謝の気持ちを伝えよう
○知恵を出し合おう
○コスト意識を持とう
○物流のプロとして誇りある仕事をしよう

わたしたちの取り組み

安全・安心への取り組み

平成23年1月20日現在、安全性優良事業所は15,212事業所あり、これは全事業所数の18.1%に当たります。Gマークは、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関（全日本トラック協会）が認定・交付する「安全性優良事業所」のシンボルマークです。

環境への取り組み

グリーン経営認証を取得していましたが、この「グリーン経営認証永年表彰」をいただきました。

【グリーン経営とは】　グリーン経営（環境負荷の少ない事業運営）は、中小規模の事業者でも環境改善に向けた取組みの目標設定とその評価が容易になり、自主的で継続的な環境保全活動を行うことができます。

将来への取り組み

2020年9月 茨城営業所危険物倉庫 増設
2021年4月 東京営業所新木場移転
2022年1月 大磯管理部 共育センター開設
　　2月 新町物流センターＥ棟増設
　　8月 茅ヶ崎物流センター開設
2023年1月 新町物流センター保税蔵置場許可

神奈川新聞の「トップに聞く」のコラムに、保税蔵置場の許可をいただいた話を中心に、弊社社長のインタビューが掲載されました

地域への取り組み

湘南ひらつか七夕まつりで、例年弊社トラックが開会式のステージとして使用されています。
また、弊社の地域活動委員会の方々が、七夕まつりのクリーンボランティアに参加しました。
地域に携わることができてとても嬉しく思います。

私たちは湘南ベルマーレ・横浜ビーコルセアーズのサポート企業です

当社は横浜ビー・コルセアーズを応援しています

当社は湘南ベルマーレを応援しています

社員への取り組み

今年も健康経営に取り組む企業として「健康経営優良法人2023」に認定されました。コロナも落ち着いてきたので、あらためて元気に働ける職場環境を心がけていきたいと思います

【健康経営とは】
健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指す経営手法のこと。

トラックドライバーの１日の仕事の流れ

トラックドライバーが日ごろ行っている、「基本的な仕事の流れ」について、説明します。
乗務前には、車両点検や運行前点呼をし、準備かできたら出発です。
トラックに乗車して荷物を運び、配送・集荷先では荷物の積み降ろしをします。
運行を終えて会社に戻ったら、伝票や日報を整理し、帰庫時点呼を行って、業務終了です。

それでは、小口配送ドライバー や、近･中距離ドライバ ーは、主にとのようなスケジュールでこれらの仕事を行っているのでしょうか。
会社によって運行形態は異なりますが、あるドライバーの1日の仕事の流れを見てみましょう。

小口配送ドライバーの場合

出社。アルコールチェック。
車両点検と点呼を行う。

会社を出発。

倉庫に到着。
午前と午後の2回行う配達のうち、
午前の便の準備を開始。
検品・仕分け・積み込み作業を行う。

午前便の配送へ出発。
県内各地の配送先をまわる。

昼食

倉庫にて検品・仕分け
積み込み作業後、
午後の配送先へ出発。

配送先へ到着。
荷物の受け渡しを行う。

配送完了

帰社。アルコールチェック、
車両点検を済ませ、
タイムカードを押して業務終了。

出社 → 点検 点呼 → ○ → ○ → ○ → ○ → ○ → ○ → 点呼 → 業務終了

近・中距離ドライバーの場合(ルート)配送

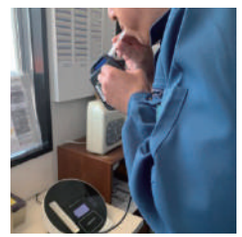
出社。アルコールチェック。
車両点検と点呼を行う。

前日に積み込んだ荷物の
納品先へ向け出発

関東圏内の2~3か所の納品先にて丁寧に
荷卸する。

昼食

翌日納品分の荷物の荷主倉庫へ向かいフォーク
リフトで丁寧に、そして迅速に積み込む。



帰社。アルコールチェック、
車両点検を済ませ、
タイムカードを押して業務終了。

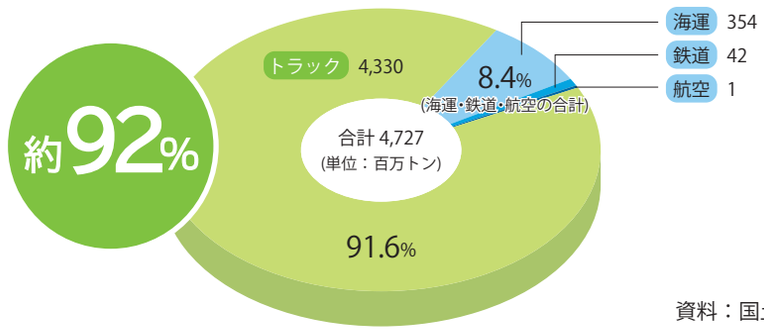
出社 → 点検 点呼 → ○ → ○ → ○ → ○ → 点呼 → 業務終了

トラックは生活と経済のライフライン

日本の物流を支えるトラック輸送

国内輸送の約9割がトラック

輸送機関別分担率(平成30年度)トンベース



資料：国土交通省

モノが、生産者や工場から私たち消費者のもとに届くまでの流れのことを、「物流」といいます。
そして、そんな日本の物流を支えているのが、「トラック輸送」です。
2018年度に日本国内で運ばれた貨物の量は、約47億トン。
トラック輸送はこのうちの約92%を占めており、日本の貨物のほとんどをトラックが運んでいることになります。

もしもトラックが止まったら

縁の下の力持ち

もしも、トラックが止まってしまったら、街ではどんなことが起こるでしょうか。
コンビニエンスストアでは、陳列棚から商品がなくなってしまいます。
病院では、治療に使う薬品や、入院患者の食事やシーツが届きません。

自然災害などで物資が止まると、コンビニに商品が届かなくなります。

工事現場では、建築資材が不足してしまいます。
市場では、新鮮な野菜やお肉、魚介類などが届かなくなります。
トラックは、みんなの生活を支える、なくてはならない存在なのです。

全日本トラック協会ポスター
「トラックは生活と経済のライフライン」

先輩の「声」

北川　聖人

経験年数　6年（26歳）
運輸部所属
大型トラックドライバー

トラックドライバーといえば一人で走るイメージですが、この仕事を通じてコミュニケーション能力が高まったと思います。土日休みで大型連休も取得しやすく。プライベートも大切にできるところが良いところです。
資格取得支援制度などもあり働きやすい環境です。

浜田　黎捺

経験年数　3年（26歳）
運輸部所属
大型トラックドライバー

運転が好きで入社しました。
初めは荷物の重さに苦労しましたが、先輩方が優しく厳しく指導してくれるので、安心して独り立ちすることができました。
体力必要だから男性が多い職種ですが、女性も活躍できる会社です。